

福井さん（函館聾学校2年） 人権作文コン全国入賞

日本新聞協会会長賞受賞に「驚きました」と喜ぶ福井稜馬さん



「みんなに認められうれしい」

函館聾学校2年の福井稜馬さん（13）が、第44回全国中学生人権作文コンテスト中央大会（法務省、全国人権擁護委員連合会主催）で日本新聞協会会長賞に選ばれた。全国7番目の賞に当たり、同校にも、言語の力を伸ばすための熱心な作文教育に対し、感謝状が送られた。

コンテストには6377校72万1058人の応募があり、各都道府県単位の地方大会で選ばれた優秀作品89点が中央大会で表彰された。福井さんの作文「コンテンツの力」は函館地方法務局長賞として出品され、聴覚に障害がある女の子が主人公のアニメ「聲の形」を例に、アニメや漫画などのコンテンツには、人をリスペク

トする気持ちをもたらず力があることをつづった。

福井さんは、2月27日に同校で行われた表彰式で、函館地方法務局長の二葉秀平局長から賞状とトロフィーを受け取り、「自分が書いた作品がみんなに認められ、とてもうれしかった。多様性の時代、相手を受け止めることができる人間になりたい」と話している。（内田晶子）